

発行 湖山西まちづくり協議会
責任者 会長 綾木 隆
事務局 湖山西地区公民館
連絡先 (〇八五七) 三一―三五八一



湖山西まちづくり協議会の取り組みについて 会長 綾木 隆

コロナ禍が収束しないまま2年目の夏を迎えています。高齢者等のワクチン接種は進んでいるものの、変異株の再拡大が心配され、マスクが必要な生活に変わりありません。感染の状況は刻々と変化していますが、市民全体にワクチンが行き渡れば状況がかなり改善されると思っています。

湖山西地区の事業においても全てに影響を及ぼす状況となっており、市内の感染状況をみながら実施していきたいと思います。今年度の湖山西まちづくり協議会(以下、まち協)の事業計画に沿った「地域組織のあり方検討」会議をまち協を構成する各種団体の方に出席を願い、7月17日(土)に開催しました。さらに検討会後、今後のまち協主催行事の実施について意見交換をいたしましたので、ご報告します。

鳥取市は持続可能な地域づくりを進めるために地域組織のあり方の検討を各地区に推奨しています。具体的には地区の自治会、公民館やまち協の役割、活動の整理を行うと共に、今後の地域組織のあり方を検討するものです。

湖山西地区においても、少子高齢化、高齢者就労、家庭内の介護等で地域活動を維持継続するための役員の確保等各種組織運営に支障が出ている場合があります。

検討会では、今後のまち協組織について次のような改革案を提示し、意見交換を行いました。

①地区の自治会、公民館、まち協それぞれの事業を整理し、効率的な運用を図る。各種団体の活動は、これまで通り尊重し、継続する。

②まち協に複数の専門部会を設けて、これまでの主要行事のみならず、部会に関係する事業、各種委員会を事業ごとにより分けける。

地域組織の効率的な運用を図る良い機会と考えられていますので、引き続き検討会を行い詳細を詰めて参ります。

(地域組織のあり方については、裏面もご覧下さい)
尚、出席者から早急に鳥取市の地域づくりの方向性、他地区の状況など鳥取市担当課と話し合う場を設定してほしいという意見がありましたので、8月21日(土)に開催することとしました。

★主催事業の実施について

湖山西地区敬老会

湖山西ワクワクまつり

湖山西地区防災訓練

湖山西つ子のついで

湖山西池北岸清掃

先行きが見通せないコロナ禍にあつて、まち協主催(下半期分)の行事については、原則中止とさせていたいただきます。尚、行事によっては市内の感染状況を見ながら、やり方を考えて小規模開催等の余地を残しています。

令和3年度「湖山西地区敬老会」は中止します

新型コロナウイルスのワクチン接種も高齢者の皆さんより順次進んでいますが、一方で変異型が猛威を振るうなど、敬老会を中止した昨年と比べて状況は決して改善はしておりません。こうした中で敬老会開催の可否を検討しました結果、多数の皆さんが一箇所に集まって飲食を行うことは感染の可能性が大きいことから、今年度の敬老会も中止することとしました。楽しみにされていた皆さんには申し訳ありませんが、ご理解の程お願いいたします。

なお、敬老対象者の皆さんには、町内会を通じて記念品を贈呈させていただきます。

湖山西地区社会福祉協議会

令和3年度 湖山西まちづくり協議会 会員名簿

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 所属. Lists committee members and staff including 中村 哲也, 藤原 慎一, 川合 達也, etc.

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 所属. Lists board members and staff including 綾木 隆, 渡辺 琢也, 星見 健蔵, etc.

4月24日(土)に、令和3年度湖山西まちづくり協議会定例会を開催し、令和2年度の事業・収支決算報告を行いました。そして令和3年度の事業計画・収支予算・役員選任についても承認していただき新年度のスタートをきりました。ただ今年もまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、当協議会は鳥取市の感染拡大防止の方針、感染の推移なども見ながら事業実施の判断を行っていきたく思います。

令和3年度 定例会開催



# 地域組織のあり方について

## ①鳥取市における取組みの背景

人口減少や少子高齢化など社会情勢が大きく変化し、地域が抱える課題も多様化しています。鳥取市は、市民と市の協働によるまちづくりを推進し、豊かな地域社会を実現するため、平成20年に鳥取市自治基本条例を制定しました。

国（文部科学省）においても、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策」について検討され、持続可能な社会づくりを進めるために、住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていくことを求めています。（平成30年中央教育審議会答申）

また、鳥取市社会教育委員会からは、『社会の変化に対応した地区公民館のあり方について（提言）令和2年4月17日』が示されたところでです。

## ②地域組織のあり方を検討する考え方

地域では自治会やまちづくり協議会、各種団体等が様々な活動を展開していますが、地域課題の多様化、地域のつながりの希薄化など、地域コミュニティを取り巻く環境は厳しさを増しており、地域によっては、人材や資金の不足など組織や活動の維持に不安を抱えておられる状況があります。

このような状況を踏まえ、鳥取市では地域コミュニティの将来像やあり方を共有し、その実現のために「学びの成果を活かした住民主体の地域づくり」を進めるため、地域と共に地域組織のあり方の検討を進めています。

令和元年度からは、地域組織の見直しを希望する地区において、試行的な取組みを実施し、その成果や課題を検証しています。

湖山西まちづくり協議会 組織図（案）



<イメージ>



## ③湖山西まちづくり協議会で

### 7月17日検討会に議論した内容

持続可能な地域づくりを進めるために、住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていただける組織づくりを目指します。まち協に複数の専門部会を設けて、これまでの主要行事のみならず、部会に関する事業、各種委員会を事業ごとに振り分けます。

- ①地区の自治会、公民館の活動の中で、地区全体の活動へ移した方が効率的と思われる事業の選別。
- ②まち協と公民館に関連する補助金の一本化により、柔軟な運用が期待できる。
- ③地区自治会（区長会）は、鳥取市、自治連合会からの要請が数多くあり、まち協との一体化はかえって複雑で無理がある。
- ④各種団体の活動は、これまで通り尊重し継続する。
- ⑤各組織役員の担い手不足・重複の解消を図り、役員等の負担を軽減する。

⑥総会、役員会等を簡素化し、効率的な会議を行う。

### ◆専門部会

各部会で関係する事業・各種委員会の計画と運営を行う。関係する事業・各種委員会の会計を補助簿等により行い、最終決算はまち協総会で行う。

- ・地区全体の活動が把握できる
- ・各種団体の連絡、親睦が図れ、団体の役員等担い手の発掘が可能となる。

### ◆企画調整委員会

企画調整委員会で、各部会の取り組みを共有する。各部会の報告により、まち協の主要事業（運動会、ワクワク祭り等）について各部の協力が可能となる。

### ◆役員会

企画調整委員会のメンバーとして各種事業の進捗状況を把握する。まち協の会計については、歳入に關係する補助金・交付金の一本化、歳出は共通する経費の支出、又各部会に振り分けた会計の集約とする。

## 湖山池北岸等の環境

### 美化活動のお礼

7月17日（土）朝8時から、湖山池北岸と湖山西地区公民館まわりの清掃をしていただきました。湖東中・湖山西小のご協力も得て、まち協の各団体から参加していただきました。暑い中、総勢95名の方にご協力いただきました。大変きれいになりました。ありがとうございました。

